



2019年9月10日

報道関係者各位

物産フードサイエンス株式会社

**物産フードサイエンスが
知多運動公園陸上競技場のネーミングライツパートナーに決定
～「物産フードサイエンス 1969 知多スタジアム」～**

物産フードサイエンス株式会社（愛知県知多市、代表取締役社長：安藤誠志、以下「物産フードサイエンス」）は、このたび、知多市より、知多運動公園陸上競技場のネーミングライツパートナーに選出されました。

物産フードサイエンスは本年10月1日に創立50周年を迎えます。半世紀にわたりご支援いただいている知多市への感謝の意を表すと共に、今後とも知多市とともに発展することを目指し、知多運動公園陸上競技場のネーミングライツパートナーに応募し、この度、決定の通知を頂きました。知多市の活性化に貢献すると共に、地域住民の皆様とのつながりをより一層深めていきたいと考えています。

＜ネーミングライツの概要＞

1. 愛称 : 「物産フードサイエンス 1969 知多スタジアム」
2. 所在地 : 愛知県知多市緑町8番地
3. 契約期間 : 2019年10月1日から5年間

＜愛称の由来＞

地域の方々に弊社をもっと身近に感じて頂けるように、「物産フードサイエンス」50周年の感謝を込めて、弊社創業年の「1969」お世話になっている知多をさらに発信できるように、「知多スタジアム」と名付けました。

＜今後のスケジュール＞

2019年9月17日（火）午後4時 知多市役所 応接室においてネーミングライツ契約締結式
2019年10月1日（火）より、愛称使用開始

<知多運動公園陸上競技場の概要>

1977年(昭和52)、第3種公認競技場として竣工。

現在は、400mトラック8レーンを備える愛知県有数の日本陸上競技連盟第2種公認全天候型陸上競技場で、観客席は、スタンド式2,000人、芝スタンド5,000人を収容可能。

周辺には、「メディアス体育館ちた」、庭球場、野球場を有する知多市のスポーツ拠点。

名鉄常滑線朝倉駅から徒歩10分。

- ◎所在地 : 知多市緑町8番地
- ◎面積 : 32,760 m²
- ◎その他 : 年間施設利用者数 : 約45,000人(30年度)



正面入口



メインスタンド

<会社概要>

物産フードサイエンス(URL : <http://www.bfsci.co.jp>) は、1969年に知多市で創業しました。同市北浜町にある名古屋工場ではソルビトールや還元水飴など食品分野を中心として、化粧品含めたヘルスケア分野などで利用されている糖アルコールを製造しており、本年10月1日に創立50周年を迎えます。

本事業で培った技術力・研究開発力を活かし、様々な新製品を開発しています。親会社三井物産グループのフードサイエンス事業の中核会社として、「科学の領域に踏み込んで、健康で豊かな社会を実現する」を目指し、糖アルコールや機能性糖質の製造・販売を通じて、食生活の質的向上を追求するとともに、食品以外の分野においても、幅広い産業分野で人々の暮らしに貢献すべく事業展開を図っています。

<本件に関するお問い合わせ>

物産フードサイエンス株式会社 CEO室 担当:中村

TEL:03-6202-2138 FAX:03-6202-2141 E-mail:info@bfsci.co.jp